

3. 令和7年度の事後調査の結果及びその結果の検討

3-1. 調査項目

(1) 調査内容

調査項目及び概要を表 3-1 に、事後調査の実施時期の概要を表 3-2 に示す。

令和7年度は、佐賀道路の鍋島 IC（仮称）～佐賀 JCT を対象として、工事前～工事中調査と位置づけて植物（重要種）の事後調査を実施した。

事後調査は、カワヂシャとサデクサについて実施した。

カワヂシャについては、令和8年度工事計画に基づき、工事予定区域のうち、水路または河岸の改変予定区域を対象範囲として生育確認調査を実施した。なお、カワヂシャが確認された場合には、移植を実施することとした。

サデクサについては、移植後4年目のモニタリング調査を実施した。

表 3-1 調査内容

調査項目		実施方法	箇所	実施時期
植物	重要種の確認調査 (カワヂシャ)	直接確認法(自生地にて生育状況・生育環境を記録する)	鍋島IC～佐賀JCT間 (令和8年度工事予定区域のうち水路または河岸の改変予定区域(河岸及び土砂堆積部))	令和7年12月 令和8年2月
	移植後モニタリング (サデクサ)	直接確認法(移植先にて移植個体の生育状況・生育環境を記録する)	嘉瀬北IC～嘉瀬IC間 (令和3度移植箇所：計画地外の堤防法面)	令和7年8月 令和7年11月

注1：表中の IC、JCT 名称はすべて仮称である。

注2：令和6年度早春季より、カワヂシャについては、次年度工事予定区域のうち、水路または河岸の新規改変予定区域を対象に実施することとした。

表 3-2 国道 208 号佐賀道路に係る事後調査の項目別の実施時期の概要

調査項目	調査内容		工事前	工事中	供用段階	
植物調査	重要種の確認調査		○			
	重要種の移植		○			
	重要種の移植後モニタリング調査		○	○	注2	
	外来種 (Azolla 属) の生育状況調査		○			
大気質	粉じん等 (降下ばいじん)			○		
騒音	建設作業騒音			○		
振動	建設作業振動			○		
地盤	地下水位観測 (環境監視調査)	代表 13 地点 (R2-水位 01~03, R3-水位 01~02, 05~08, 10~11, R5-水位 01~02)	○	○	○	
		補助 4 地点 (R3-水位 03, 04, 09, 12)				
	地下水質	評価書に基づく 環境配慮事項 ^{注3}	代表 13 地点	○	○	○
		環境監視調査 ^{注4}	補助 4 地点 各区分 1 地点	○	○	○
地盤高 (環境監視調査)	嘉瀬北 IC～嘉瀬南 IC：代表 10 地点		○	○	○	
	鍋島 IC～嘉瀬北 IC：代表 3 地点					
	鍋島 IC～嘉瀬南 IC：補助 25 地点					

注1：表中の IC、JCT 名称は、嘉瀬南 IC を除きすべて仮称である。

注2：赤枠は令和7年度工事予定に対応する事後調査項目を示す。

注3：pH、酸化還元電位、六価クロム

注4：健康 28 項目、pH、硬度 (Ca、Mg)、濁度、浮遊物質量、塩素イオン

(2) 調査地点

調査地点は、鍋島 IC（仮称）～佐賀 JCT（仮称）間である。

重要種の確認調査（カワヂシャ）は、令和 8 年度工事による水路または河岸の新規改変予定箇所とし、佐賀 JCT（仮称）周辺の 1 地点で調査を実施した。嘉瀬北 IC(仮称)～嘉瀬 IC(仮称)間にも新規改変予定箇所があるが、佐賀市が実施する防除実験の位置と重なることから、調査範囲から除外した。

移植後モニタリング(サデクサ)は、令和 3 年 11 月にサデクサの移植を行った地点とした。

(3) 調査方法

重要種の確認調査（カワヂシャ）については、水路の土砂堆積部において、現地踏査による直接確認法により実施した。

移植後のモニタリング調査（サデクサ）については、移植箇所において、現地踏査による直接確認法により実施した。

(4) 調査期日

植物調査の時期を表 3-3 に示す。

表 3-3 調査時期

調査内容	調査地点	調査期日
重要種の確認調査 (カワヂシャ)	鍋島 IC～佐賀 JCT間 (令和 8 年度工事予定区域のうち 水路または河岸の改変予定区域 (河岸及び土砂堆積部))	令和 7 年 12 月 16 日 令和 8 年 2 月 24 日
移植後モニタリング調査 (サデクサ)	嘉瀬北 IC～嘉瀬 IC 間周辺の計画 地外の堤防法面 (令和 3 年 11 月移植箇所)	令和 7 年 8 月 8 日 令和 7 年 11 月 7 日

注 1：表中の IC、JCT 名称はすべて仮称である。

注 2：令和 6 年度早春季より、カワヂシャについては、次年度工事予定区域のうち、水路または河岸の新規改変予定区域を対象に実施することとした。

3-2. 調査結果

(1) 重要種の確認調査（カワヂシャ）

1) 経緯

- ・令和3年度の重要種確認調査の結果、早春季（3月）に鍋島 IC（仮称）～嘉瀬北 IC（仮称）間の水路2箇所において計33個体が確認された。そのうち、西側確認地点（確認エリア②）で確認された4個体が盛土工事によって消失すると想定された。変更区域内での確認個体数が4株と少ないこと、移植の手間がかからないことから、移植をすることとなった。
- ・令和4年5月に有識者の助言を踏まえ、移植を試みたが、確認エリア①（25株）および確認エリア②（4株）の両方とも生育個体はカワヂシャが確認されなかった。代替措置として、変更区域内の確認エリア②の土壌を、計画区域外の確認エリア①に表土移植した。なお、確認エリア②から約200m北（上流）に位置する水路にカワヂシャの生育地が確認され、本生育地から確認エリア①、②へ種子が供給されているものと考えられた。
- ・令和5年度調査では、確認エリア①、②においてカワヂシャは確認されなかった。なお、令和4年度と同様に、確認エリア①、②の上流に位置する水路においてカワヂシャの生育（令和5年5月、令和6年3月）が確認されている。
- ・令和6年度11月調査（秋季調査）、2月調査（早春季）では確認エリア①、②においてカワヂシャは確認されなかった。
- ・令和6年度より、休眠種子や流入種子の発芽の有無の確認を目的に、次年度工事計画のうち工事による水域の新規変更予定箇所を対象としてカワヂシャの生育確認調査を実施し、個体が確認された場合には移植を行うものとした。
- ・令和6年度調査において、令和7年2月調査（早春季）に令和7年度新規変更予定箇所でも調査を実施したがカワヂシャは確認されなかった。

2) 秋季調査

秋季調査は令和7年12月16日に令和8年度工事計画の水域の新規変更予定箇所において実施したが、カワヂシャは確認されなかった。

3) 早春季調査

早春季調査は令和8年2月24日に令和8年度工事計画の水域の新規変更予定箇所において実施したが、カワヂシャは確認されなかった。

4) 今後の対応

今後は、令和9年度工事計画のうち工事による水域の新規変更予定箇所を対象にカワヂシャの生育確認調査を実施するものとし、個体が確認された場合には移植を行うものとする。

なお、過去（令和3年度）にカワヂシャが確認された JR 線～鍋島 IC 間は工事未着手区間のため、令和7年度以降はカワヂシャ調査を実施しないことが過年度検討会にて決定されている。令和8年度に工事を計画していないため JR 線～鍋島 IC 間で調査は実施しない。

移植後モニタリング（サデクサ）

1) 経緯

- ・令和3年度の重要種確認調査により、秋季（10月）に嘉瀬北 IC（仮称）～嘉瀬 IC（仮称）間の改変区域内で6個体、改変区域外で6個体の計12個体が確認された。サデクサについては、確認個体数に対する消失割合が5割と大きく、生育環境の保全のため改変区域内6個体を移植することとなった。
- ・令和3年11月5日に有識者の助言を踏まえ、計画地外の堤防法面に移植及び採り播きを行った。令和4年1月には、移植地の日当たり改善を目的とした移植地周辺の草刈りを行った。
- ・令和4年度の移植後モニタリング調査においては、8月17日に移植地②で2個体、11月7日に移植①の枠外で1個体、移植地②で4個体、枠外で1個体が確認された。
- ・令和5年度の移植後モニタリング調査においては、8月4日に移植地①の枠外で5個体、移植地②の枠内で4個体、11月7日に移植地①の枠外で1個体、移植地②の枠内で4個体、枠外で1個体が確認された。
- ・令和6年度の移植後モニタリング調査においては、8月9日に移植地①の枠内で1個体、移植地②の枠内で5個体、11月5日に移植地①の枠内で1個体、移植地②の枠内で5個体、枠外で2個体が確認された。

2) 夏季調査

夏季調査は令和7年8月8日に実施した。

令和3年度に移植を行った地点（移植先）2か所を探索した。移植地①では枠内で1個体、枠外で1個体、移植地②では枠内で4個体、枠外で5個体が確認された。

3) 秋季調査

秋季調査は令和7年11月7日に実施した。

令和3年度に移植を行った地点（移植先）2か所を探索した。移植地①では枠外で1個体、移植地②では枠内で3個体、枠外で1個体確認された。確認された個体は、花芽や結実が確認された。

表 3-4 事後調査モニタリング結果（サデクサ）

調査年度	調査時期	移植地①		移植地②	
		枠内	枠外	枠内	枠外
令和3年度	移植 11月5日	2 個体	-	4 個体	-
令和4年度	夏季 8月17日	-	-	2 個体	-
	秋季 11月7日	-	1 個体	4 個体	1 個体
令和5年度	夏季 8月4日	-	5 個体	4 個体	-
	秋季 11月7日	-	1 個体	4 個体	1 個体
令和6年度	夏季 8月9日	1 個体	-	5 個体	-
	秋季 11月5日	1 個体	-	5 個体	2 個体
令和7年度	夏季 8月8日	1 個体	1 個体	4 個体	5 個体
	秋季 11月7日	-	1 個体	3 個体	1 個体

注) 枠は、移植後、水路管理者や地元の方が草刈りや除草剤の散布を行わないよう、トラロープで囲った範囲。

4) 今後の対応

移植地①は移植地及びその周囲で生育を確認しているものの、移植地の確認個体数が少なかった。そのため、令和8年度は引き続き移植地①において移植後5年目のモニタリングを実施する。なお、移植地②は、サデクサの活着状況に問題が無いことが確認されたため、令和7年度にてサデクサの移植後モニタリング調査は完了するものとする。なお、トラロープ、看板の設置は引き続き行うとともに、移植地の生育環境整備（日当たりの確保）のため、冬季から早春の間移植地の草刈りを行うものとする（令和7年度は、令和7年12月16日に実施）。